

# 神戸の洋菓子界を支える 若手パティシエたちの競演

兵庫県洋菓子協会主催  
第47回クリスマスケーキ・コンテスト



11月12日、洋菓子の街・神戸ならではの、そしてグルメな秋にふさわしい、なんとも甘いイベントが、神戸ファッション美術館で開催された。兵庫県洋菓子協会が主催する「クリスマスケーキ・コンテスト」である。第47回を迎えるこのコンテストは、洋菓子の技能の向上を目的として実施されてきた。

コンテストは、ヘクセンハウス（お菓子の家）の部、パティシエ経験5年以上のAクラス、5年未満のBクラス、洋菓子専門学校等学生の部という4部門、百数十点にも及ぶ作品を対象に実施。各部門より兵庫県知事賞、神戸市長賞、日本洋菓子協会連合会会長賞など、1～10位の入賞者が発表された。

神戸の洋菓子界を担う若手パティシエたちが、華麗な技を競った。47回目を迎えたクリスマスケーキ・コンテストには、兵庫県下の若手シェフ百数十名が参加。そのレベルの高さに、神戸洋菓子界の裾野の広さを目の当たりにした。

注目度の高いヘクセンハウス部門の今年のテーマは「ヘンゼルとグレーテル」。お菓



神戸洋菓子界の将来を担うコンテスト入賞者と大会関係者



「パティシエたちが切磋琢磨して、洋菓子のレベル向上につなげれば」と兵庫県洋菓子協会会長・比屋根毅さん



会場となった神戸ファッション美術館には、数多くの来場者が訪れた

各4部門の1位受賞者たち／写真右から、内間忍さん・㈱ツマカリ、宇佐美洋平さん・㈱ヴィタメールジャパン、野田明宏さん・㈱アンテナール、樋口加奈さん・神戸国際調理製菓専門学校

子で家を作るといふ高度な技術とストーリー性など、全てにおいてバランスのとれた完成度の高い作品が並ぶ。また上位入賞作品は、兵庫県立芸術文化センターの記念行事「ヘンゼルとグレーテル」のオペ

ラ上演に合わせて、12月10日（土）～25日（日）、同館での展示も決まっている。「各部門とも、どの作品が1位になってもおかしくない力作揃い」と評するのは兵庫県洋菓子協会会長をつとめる

（株）エーデルワイス代表取締役会長・比屋根毅さん。学生達の作品も昨年度よりぐんとレベルを上げ、すでにプロとして活躍しているのではありません。と審査員をうならせる優れた作品が多数見られた。





クリスマス(Aクラス)の部1位/内間忍さん・榎ツマガリ



ヘクセンハウスの部1位/野田明宏さん・榎アンテノール



学生の部1位/樋口加奈さん・神戸国際調理製菓専門学校



クリスマス(Bクラス)の部1位/  
宇佐美洋平さん・榎ヴィタメールジャパン

神戸ブランドを代表する、  
神戸の洋菓子。全国的に名の  
知られる洋菓子メーカーやお  
店が数多く存在し、口の肥え  
たケーキファンのチェックが  
厳しい土地柄ゆえ、逆にパテ  
イシエ同士が切磋琢磨し、技  
術やセンスが育つ。伝統や文

化を継承し、次なる洋菓子の  
世界を切り開くパティシエが  
このコンテストを一つの機会  
として、旅だつていく。それ  
は神戸にとって、何よりのク  
リスマスプレゼントになるは  
ずだ。



兵庫県洋菓子協会 会員

**KAGOTANI**

卵にこだわった食材開発サービス(小ロット対応可能)

テーブルエッグ・液卵・ボイルエッグ・マヨネーズ・タルタルソース・サラダ

<http://www.kagonet.co.jp>

株式会社 籠谷 〒676-0005 兵庫県高砂市荒井町御旅2丁目1番17号  
☎0794-42-2471 ☎0794-42-9211



# 平成十八年初詣

## 神戸の由緒ある神社を訪ねる

### 生田神社

神戸の名の由来となった古社「神戸」という地名は、古代からの生田神社の神を守る地という意味から由来するといふ。ご祭神・稚日女尊様は、女性神。日本書記には、機を

織る場面が登場することから、ものを創り出す神様、生み出す、生成の神様といわれる。また、源平の合戦をはじめ、神戸大空襲、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けながらも美しく復興した姿から「甦りの社」として尊崇されている。

境内にある「生田の森」は「御鎮座一八〇〇年祭」の際に整備され、緑の息吹を街に与えている。



正月にしつらえられる「杉盛」

☎078-321-3851  
神戸市中央区下山手通1-2-1  
<http://www.ikutajinja.or.jp>

### 湊川神社

忠誠と正義を示された大楠公を祀る

智・仁・勇の三徳を兼ね備え、聖人とも仰がれた楠木正成公は、一二三六(延元)年、足利軍と戦ってこの地で殉節された。のち大楠公を景仰する尼崎藩主や地元の人々がお守りし、江戸時代に入り水戸光圀公が墓碑を建立、明治天皇の御沙汰により現在の湊川神社が建てられた。



湊川公園の大楠公像

能楽との関係も深い大楠公にちなみ、一九七二年に本格的な能舞台が建設され、二〇〇二年には、六七年振りに行装を改めた「楠公武者行列」が復活した。大楠公に対する崇敬は現在も変わりなく「楠公さん」と呼ばれ親しまれている。

☎078-371-0001  
神戸市中央区多聞通3-1-1  
<http://www.minatogawajinja.or.jp>







## 北野天満神社

異人館街の国際色豊かな神社  
学問の神様・菅原道真公を  
祀った神社。平清盛が福原遷  
都に当たり、京都の北野天満  
宮を勧請して祀られ、以来こ  
の地は「北野」と呼ばれるよ  
うになった。

明治の神戸開港以来、北野  
の地には多くの外国人たちが  
住み、異国情緒あふれる場所  
に。毎年七月には、宗教を越  
えて世界平和を祈願する「北  
野国際まつり」、十一月には



## 蛭子神社

神戸の福の神「柳原のえびっさん」  
古くは、西宮えびす神社か  
らの神幸が、和田岬から来ら  
れた際、神輿の行在所が作ら  
れた柳原の地に、庶民たちに  
よって神様が祀られるようにな  
ったのが由来とか。

毎年、一月九・十・十一日



石造りのえびす様

の「十日えびす大祭」は多く  
の人々で賑わい、神戸中央卸  
売市場からの大マグロ、鯛な  
ど海の幸の奉納も有名。九日  
には地元の若手による淡路人  
形浄瑠璃「戎舞」の奉納も。

境内入り口そばに、石造り  
のえびす像がある。作者や作  
成年月日は不明だが、古く由  
緒ある像とのこと。釣竿を上  
げ、鯛を抱え、非常に福々し  
いお顔をされている。

☎078-65110183  
神戸市兵庫区西柳原町5-20  
<http://www.hyogo-ebisu.com>



かない鯉

世界各国の芸術が披露される  
「神戸北野国際芸術祭」が開  
かれるなど国際色豊かな神社。  
境内にある「かない鯉」は、  
恋の願いを叶えてくれるとい  
われている。

☎078-22112139  
神戸市中央区北野町3-12-1  
<http://www.kobe-kanano.net/kananotemangu/>



■ 神職身分特級昇進に寄せて

## 楠木正成公の 御精神を守り伝える

栃尾泰治郎（湊川神社宮司）

神社で生まれ、

神社で育ち自然と神職の道へ

―― 栃尾宮司はどのような経緯で

神職の道に進まれたのですか。

栃尾 私は、生まれは兵庫県の  
尼崎市です。阪急園田駅の近  
くの白井神社が実家です。父  
が宮司でしたから、神社で生  
まれて、大学まではその神社  
で育ったのです。そして神職  
になるため國學院大學に進み、  
神道学専攻科を終えて、昭和  
40年に神社本庁に入りました。

それから平成6年末まで神社  
本庁で仕事をしてきました。

若い頃は好きなことをやり

たいという時もありましたが、

後で思えば、神職の道に自然

と入っていったような気がし

ます。湊川神社のような大き

な神社の後継者は希望者がい

くらでもいますが、小さなお

宮は世襲するしかないのです。

―― 今回の神職身分特級昇進に  
至った過程はどのようなもの  
だったのでしょうか。

栃尾 私は卒業後30年ほど神  
社本庁に勤め、最終的に事務  
局長から湊川神社に転任にな  
りました。学士入学で中央大  
学の法学部を卒業した事もあ  
って、専門的には主に神社制  
度など全国神社の法的な問題  
に携わってきました。神社特  
有の伝統的な姿や考え方があ  
り、神社を守る世俗的な問題  
も沢山あります。今回の特級  
昇進にはそういうことも、あ  
るいは評価されたのでしょうか。  
もちろん湊川神社に来て  
からの震災復興や楠公武者行  
列復旧などに従事した経験も  
大きいかとも思っています。

英霊を祀ることは

日本人の大切な心

―― 湊川神社は、戦前は広く国  
民に崇敬された神様でした。

いま日本人が、なぜ神社を祀

るのかということに気付かな

ければならないと思います。

栃尾 大義のためには命を賭  
けても、という真剣な時代で  
したから、国のために殉じて  
いった人たちの心の支えとな  
った神社だったんでしょうね。  
いま首相の靖国神社参拝を



とやかくいう者がいますが、大戦中は、愛する人や愛する国土を守るために生命を賭して戦いました。この国を守るために殉じた英霊を祀ることは日本人の大切な心として、守り伝えてゆかねばならず、今の時代に深く思いをいたすべきかと思っています。

―湊川神社は楠木正成公を祀る神社ですが、平成14年には楠公武者行列も復活されました。そもそも楠公さんの教えとはどのようなことですか。板尾 それはかつて、水天宮（福岡県）の祠官だった真木和泉守が「楠子論」で述べられたことにあると思います。

単的には、日本の国は天子様を中心として成り立っている国だから、それを侵してはならない。楠木正成公は、日本



毎年5月に行われる楠公まつり

は天子様を中心とする国であって、朝敵足利尊氏が天子様にとって替わることのないよう、戦い続け、その精神を示された。つまり天子様を中心とする国を守る戦いを、子々孫々に亘ってまで徹頭徹尾貫き通されたのです。たとえ一時の天子様に不満があっても、御先祖天照大神様より代々に亘る天子様のお陰を思うべきであると。その精神こそが、後世の天下統一を図ろうとする者への強い戒となり、国の基を守るべき姿勢を正すことになったところに、御精神の偉大さがあると思われるのです。

本物とは、本質が変わらないもの  
いまの時代こそ日本人の原点に  
―震災から10年が立ちました。



平成14年に復活した、楠公武者行列

神戸のまちについてどのような  
に思われますか。

板尾 神戸は非常にオシャレな町であり、同時に革新的で、新しい分野に取り組んできたまちだと思うのです。ただ一方で神戸は歴史的にも大事な町と言えるのですが、意外にそのことの認識が低いように思われます。外国の新しい文化摂取に積極的であるのはいいのですが、古くからの良いものもたくさん持っているはず。新しいエネルギーを受け入れようとして、先へ先へと目が行ってしまう傾向があるのでしょうか。

今の時代はインターネットなどで情報が氾濫していますから、世の中が混乱しているように見えます。昔ながらの古いことを守ってすることが、逆に新しいことにもなりかねない世の中です。こんな時代、本物を求め始めると、原点に戻っていくしかないのではないかと、と思います。本物というの、形は変わっても、本質は決して変わらないものです。楠木正成公もそのようなことを伝えたかったのではないのでしょうか。

# LOUIS VUITTON

思い出の地、神戸とふたたび

LVJグループ全体で盛り上げていきたい

昨年、創業150周年を迎えたルイ・ヴィトン。神戸には深い郷愁を感じると語るLVJグループ株式会社 代表取締役社長の秦郷次郎さん。神戸の思い出やルイ・ヴィトンのこれからの展開などお話を伺った。



LVJグループ株式会社  
代表取締役社長

秦 郷次郎さん

—神戸に大変郷愁があるとうかがいましたが、どのような思い出がありますか。

生まれは高知県なのですが、4、5歳の時に1年ほど垂水の叔母のところへ過ごしていたことがあります。その頃の古い写真を見ていると懐かしいですね。また、中学に入った頃に一番上の姉が六甲に嫁ぎましたので、夏休みなどを利用して三宮に遊びにきていました。当時は博覧会が開かれていた事もあり、私にとつて最初に遭遇したおしゃれでモダンな街でした。

ルイ・ヴィトン

ンとしては国内の直営1号の銀座店に次いで、1983年に神戸の元町店ができた事もあり、

当時、神戸によく来ていましたね。神戸の元町店はその後旧居留地に場所を移し、国内初のLVMH複合店として2002年にオープンしました。外観はメタルメッシュにしたいと決めていました(笑)。メタルメッシュの外壁はなかなかアーティスティックで手のこんだ作りになっているのですよ。

—旧居留地はともにおしゃれな街並みですが、その中でもルイ・ヴィトンの果たす役割は大きいですね。

旧居留地は、震災でオリエンタルホテルがなくなつてし

まいとても寂しい限りです。旧居留地に店舗を作ったのも、さらに盛り上がりつつあったという思いもありました。LVJグループ全体でも盛り上げていきたいと考えていますが、ある程度の集積規模に達しないと効果はないので、LVJグループだけでは限界があります。今後小規模でもよいホテルができてほしいですね。いい街づくりには人が集まる場が必要不可欠ですから。

—品質が高いことで知られているルイ・ヴィトンの製品ですが、大切にされていることは何ですか。

ものづくりを一番大事にしています。トランクから始まり今のバッグにいたつてもその伝統は守り続けています。バッグを作る際にもデザインなどにこだわるのはもちろんですが、リペアができる構造にするなど随所にこだわりのもって作っております。このようなルイ・ヴィトンスタンダードをもつてものづくりをするにより、非常に高品質な製品を作り出せると思っ



ルイ・ヴィトン神戸店

## 「スペシャルオーダーイベント～150年の歴史を巡る旅～」

旧居留地にあるルイ・ヴィトン神戸店にて、11月19日(土)～27日(日)の期間、「ルイ・ヴィトン スペシャルオーダーイベント～150年の歴史を巡る旅～」が開催された。

「スペシャルオーダー」は1854年の創業から現在に至るまで、150年の歴史をかけて受け継がれてきたルイ・ヴィトンの真髄ともいえるサービス。現在は、お客様の要望により世界唯一のオリジナル製品を作る「カスタム・メイド」と、既存モデルの素材を変更して作る「メイド・トゥ・オーダー」の2種類がある。今回、バリエーションにあるルイ・ヴィトンミュージアム所蔵のスペシャルオーダーコレクションから選りすぐりの「カスタム・メイド製品」19点が展示され、ルイ・ヴィトン150年の歴史を紐解く貴重な製品の数々を目にすることができた。

ルイ・ヴィトンはトランクに革命をもたらした、貴重な製品の数々。



「右」ベント・トランク(1885年)  
「右」婦人用トランク(1895年)  
「左」ワイド・トランク(1930年頃)



「右」バスケット・トランク(1909年頃)  
「左」自動車用トランク(1904年頃)  
「上」自動車用トランク(1904年頃)  
「下」バスケット・トランク(1909年頃)



メイド・トゥ・オーダーの数々



靴用トランク(1925年頃)



「上」バスケット・トランク(1909年頃)  
「下」バスケット・トランク(1909年頃)



## 創業150周年を記念して作られた ルイ・ヴィトンの重厚な歴史を紐解いた初めての本が出版

「ルイ・ヴィトン—モダン・ラグジュアリーの誕生—」 著者 ポール・ジェラール・バザル  
価格 18,000円(仏語、英語、独語、ロシア語)

※日本での取り扱いは英語版のみ。日本語のサマリー付。全国のルイ・ヴィトンストアにて販売中。



ています。  
—これからの展開はどのような  
お考えですか。  
少しずつですが、多様化を  
おこなっています。最近では  
時計や宝飾品を始めました。

また、来年にはサングラスを  
始める予定です。靴や洋服は  
軌道にのってきているので、  
新しい分野はこれから少しづ  
つ伸ばしていきたいと思っ  
ています。あまり手を広げてい

くといったつもりはありませ  
んが、ものづくりを大切にし  
ながらもひとつひとつ付け加  
えていき、今よりさらに楽し  
んでいただけるようにしてい  
きたいですね。



去る10月19日、大阪市淀川区の株式会社イワテロックハンド大阪本社にて、ブランド「ジョン・ハンプトン」の2006年春夏向け展示会がおこなわれた。

イギリスで古くから親しまれている「ジョン・ハンプトン」。バッグやアウターで定評のある高級ブランドだ。トラディショナルなテイストと、赤と緑のシンプルなチェックは、ロンドンっ子にはすっかり馴染みだ。

そんな「ジョン・ハンプトン」のファンデーションが、日本に初めて到来する。2006年春夏のシリーズは、「コンテンポラリー・クラシック」がコンセプト。英国貴族のライフスタイルを軽やかにアレンジし、何気ない生活シーンにマッチするスタイルだ。

今回リリースされたのは、「ジョン・ハンプトン」伝統の赤と緑のチェックをベースにし

## 英国貴族のライフスタイルを ジョン・ハンプトンのファンデーション、日本初上陸



大人の女性に似合う、エレガントな雰囲気



キャミソールにも伝統のチェック柄をあしらって



た「ハウスチェック」、モードを上品にあしらった「ベリックブルーミングクラシック」、大胆なデザインに繊細な機能の「パスタタイムスポーツ」、鮮やかにしておだやかな「リゾートギャラリー」と、個性的な4つのラインナップ。「正統派のブランドですが、そのノウハウを根底としたアヴァンギャルドさで、新しい試みにトライしました」とデザイナーの福谷圭美さん。

デザインのクオリティもさることながら、素材にも注目

が集まっている。特に今回多く採用されている「リヨセル」は、ユーカリの木を原料とする天然繊維。軽くてやわらかいので、見た目の風合いもエレガントなだけでなく、肌触りもやさしくなめらか。身につけているのも忘れてしまいうるくらい自然な生地だ。また、吸湿性、速乾性、通気性も良いのでじめじめとした日本の夏には最適で、強く縮みにくいので耐久性も高い。「肌にやさしく清潔で、しなやかなディテールもきれ

い」と、福谷さんが抱いている理想を叶えた繊維だ。「豪華な雰囲気ワードローブが上陸します。いずれはオーダーを手がけたいですね」と、イメージプロデューサーの若林輝雄さんは次を見据えている。

#### ■お問合せ

株式会社イワテロックハンド  
06-6395-2000



デザインを手がけた福谷圭美さん



今回の「仕掛け人」、若林輝雄さん



上田千華  
presents

# ちがナビ

ONE DAY  
TRIP  
ワンデイトリップ

♪新!三木市編♪

上田千華が「案内する」ちがナビ「ONE DAY TRIP」のコーナー。今回は10月24日に吉川町と合併してますます魅力が広がった、神戸のお隣三木市を訪ねます。さまざまな動物とのふれあい、地場産業の見学、そしてグルメと盛りだくさんのコースへ、寒さに負けずいざ出発!

バーコードリーダー機能付き携帯電話で、今回ご紹介したお店の情報を確認することができます。QRコードを読み取ってアクセス! ※機種によってはアクセスできないこともあります

## 三木 ① ホースランド パーク



緑に包まれた楽園で  
馬上の人となる

まずやってきたのは、馬たちとふれあえる三木ホースランドパーク。早速、厩舎の見学へ。洒落た「お馬さんのお家」に「おじゃまします」。

首を出して愛嬌を振りまく馬たちとふれあえます。最初はちよつと怖かったけれど、鼻先や首筋をなでてあげると気持ちよさそう! お友達だと思ってもらえたかな?

そして体験乗馬にトライ!  
今回はここで一番の人気者、



なんと日本ダービーで3着だったというメイショウウジエニエ号に乗せていただきました。とてもおとなしく、私が乗っても馬耳東風。でも馬上からの眺めはさすががしく、とても気持ちがよかったです。

敷地内にはレクリエーション施設も豊富です。馬の公園なので「ホースシユーズ」に挑戦! 蹄鉄を杭に向かって投げて、できるだけ杭に近づけてポイントを競います。重さ約1キロの蹄鉄を投げるので



すが、ちよつぱり難しい…。でも慣れてくるとなかなかおもしろくて、思わず熱中!

ほかにも競技観戦やレクリエーションと盛りだくさん! 一日中楽しめる、家族連れにもオススメのスポットです。



## ●三木ホースランドパーク

開園時間 9時~17時

第4月曜日休園、国際馬事ゾーン「エクス」の森(厩舎見学、乗馬などは毎週月曜休館(祝日の場合翌日))  
☎0794-833-8110  
<http://www.miki-hp.or.jp/>

三木市別所町高木

●入園料・駐車場無料

●体験乗馬は要予約

予約専用 ☎0794-833-8681

1鞍大人3500円、高校生以下2500円(年齢制限あり)スケジュールはホームページを参照するかお問合せを)

●ホースシユーズは1人1回あたり大人200円、小人140円(平日は半額)  
◇地図は31ページ





## ② バランタイン



おいしい！そして  
かわいいのです！

馬のあとはペンギンです。  
なんと、ペンギンがいるカフェレストランがあるときいて、バランタインにやって来ました。店内に入って左に目をやると…います！ガラス越しで



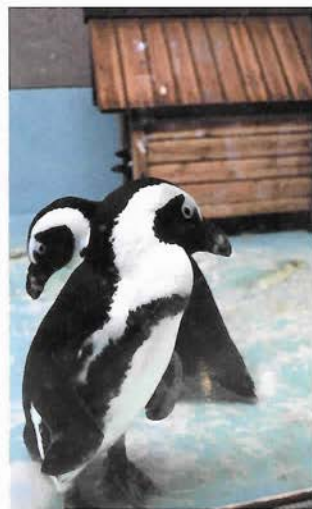
はありますが、4羽のケーブペンギンがのぼんと羽を休めています。ところがあまり動きません。どうやらお休み中の様子。まるいお腹をぺたりと床につけて、まどろむ姿

もまたユニークです。

そんな姿を眺めながらのランチですが、お料理もとっても美味なのです。今回は日替り

ランチから、お肉のメニューをチョイス。ポークとビーフのローストはとってもジューシーな手づくりの味。季節のケーキも自家製で、ポリウムも満点です。コーヒーもオリジナルブレンドのこだわりようです。

自家焙煎のコーヒーの芳しさに目を覚ましたのか、ふとペンギンがひよっこり起きて大あくび！ヨチヨチと歩いて、こちらをじっと見てくれました



た。仕草がとても愛らしい！おなかもハートも満たされた気分になりました。

### ● バランタイン

営業時間 10時～23時30分  
第1・3・5木曜日定休

☎0794・825919

三木市宿原293・3

●日替りランチは4種・1000円（スープ・サラダ・ドリンク付）、自家製ケーキ500円（持ち帰り可）、コーヒ1420円（ケーキセット840円）  
●各種パーティーも可

◇地図は31ページ

### タイムスケジュール

10:00 ①三木ホースランドパーク

↓ 車で約15分

12:00 ②バランタイン

↓ 車で約10分

13:30 ③常三郎

↓ 車で約45分

15:30 ④BOSS & MOM

### ③ 常三郎



## 金物の歴史に触れ 匠の技を見学

三木市の地場産業と言えば金物。千五百年にもわたる歴史を重ねた、日本で最初の「金物の街」なのだそうです。その伝統を守っている鉋かんの工場を見学に、常三郎へ。

ここでは、日本刀の伝統技



術を生かした製法で鉋を作っています。用途に合わせて12種類の鋼を、なんと明治22年以前に製造された鉄を鍛造した地金に合わせます。「その時代のもは柔らかくて、鉋の地金に最適なのです。原材料



料の確保に全国を駆けめぐりますが」と、三代目の魚住徹さん。その努力と確かな技術が、プロの加工さんが選ぶ品質を支えているのですね。

鍛造は火花が散って迫力満点！研磨工程では感覚も研ぎ澄ましているようで、息をのみました。なお、見学できる工程は日によって違います。資料室では、私も鉋がけに挑戦！思ったより力がいらしますが、透き通るような薄さで



削れてちよつと感激。完成した鉋の美しさにも目を奪われました。



### ● 常三郎

見学随時（要予約）

☎ 0794-825257

三木市福井八幡谷2151

<http://www.tsune36.co.jp/>

● 工場見学の予約は、ホームページの専用フォームまたはお電話で

◇ 地図は31ページ

### ④ BOSS & MOM



しほりたてミルクの  
フレッシュなジェラート

のどかな田園地帯が広がる旧吉川町の一角。西山牧場直営のアイスクリーム工房、BOSS & MOMは、新鮮なミルクたっぷりのジェラートで大人気なのです。

お店の入り口にはかわいい







# 大正・昭和の時代を見事に再現 細部までこだわり作り上げる プロの技に感動!

## 終戦六十年スペシャルドラマ 火垂るの墓

11月1日放送

野坂昭如さんの原作小説「火垂るの墓」が、終戦60年目の今年、ついに実写ドラマ化。空襲で家も親も失った幼い兄妹を引き取るようになった叔母・久子を主人公にスタジオジブリのアニメとは違った視点から戦争を生き抜こうとした人々を描いている。



©NTV



©2004 テレビ東京・角川映画

## テレビ東京開局40周年記念ドラマ 赤い月

映画版でも話題の、なかにし礼原作「赤い月」のTV版。激動の満州を生き抜いた女の、愛と魂の物語。過酷な状況下で生き抜いたたかさと激しい恋情を高島礼子らが熱演。中村獅童、内藤剛志ら豪華キャストを配し、映画化でも話題の広大な中国を舞台に贈る、一大大河ロマン。



終戦60年ということですが、昨年から今年にかけて戦争が描かれているドラマが何本か制作・放映されました。11月1日に日本テレビ系（関西では読売テレビ）で放映されたのが「火垂るの墓」。野坂昭如さんの小説が原作で、アニメ版をご覧になった方は多いと思いますが、今回はついにその実写ドラマ版が作られました。原作では、清太と節子の幼い兄妹が主人公ですが、ドラマ版では、その2人を引き取るようになった女性、久子が主人公。松嶋菜々子さんが演じました。

その「火垂るの墓」の舞台といえは神戸。本当ならば、オール神戸ロケで撮影して頂きたかったのですが、もちろん、当時の神戸が今残っているわけではありませんので、それは無理。そうだとすると、せめて一カ所でも神戸で撮ってほしいというのが、我々神戸フィルムオフィスのスタッフの願いでした。そしてロケハンで何カ所か制作者に見て頂いた結果、ロケ地に選ばれたのは3カ所。そのうちの1

カ所が垂水区の市営高丸住宅でした。

物語の中では、「久子がひとりで暮らしていた質素な日本家屋」としてドラマの最初の方に登場。なつと恵子が久子の遺品を整理していてドロップの缶を見つけるあのシーンです。市営住宅というと普通は4〜5階建ての建物が並ぶ団地を想像

日に行われたのですが、当日は朝からあいにくの雨。雨合羽を着たり傘を差したり、スタッフもキャストも大変だったと思います。でも、海を見下ろすシーンを撮影したときは、まるで魔法のように雨が降り止み、眼下には神戸の青い海が……。本当に良かったです。

されるかもしれませんが、高丸住宅には平屋もあります。それが神戸にあったとは感激でした。

台本の中では「中庭に下りる」シーンもあり、空き家になっていた住宅の庭を美術のスタッフがドラマ用によりがえらせて下さり、その素晴らしさにも感動しました。撮影は9月5



©NTV



神戸市垂水区の市営高丸住宅。  
何もない平屋の住宅の庭もこうやって美術さんが  
細部までこだわってきれいに手入れしてドラマの  
雰囲気合うように作りこんでいるのです。  
プロの技に感動!



戦争が描かれているドラマで、やはり神戸で撮影があった印象深い作品といえば、「赤い月」。なかにし礼さん作の小説が原作で、テレビ東京40周年記念ドラマとして制作され、昨年の5月に放映された4時間半に及ぶ大作です。キヤストも高島礼子さん（波子役）、内藤剛志さん（勇太郎役）、寺脇康文さん（大杉寛治役）、中村獅童さん（氷室啓介役）、泉ピン子さん（原洋子役）など豪華な顔ぶれ。時代は大正9年から現在まで、舞台は満州（現在の中華人民共和国の黒龍江省）、小樽、京都ということでロケ地もたくさん必要でした。

神戸で撮影されたのは、3カ所、4シーン。まずは主人公の波子が初恋の相手、大杉と満州で再会する「ヤマトホテル」の屋内。なんと、兵庫県公館で撮影させて頂くことができました。ロケ場所としての使用を許可するのは初めてということで、とてもありがたかったです。続いて、新京で勇太郎たちがロシア兵から身を隠していた馬屋。ここ



映画版「赤い月」では描かれなかった  
真の物語のラストシーンをついに映像化!

『赤い月・特別版 黎明編』『赤い月・特別版 完結編』



©2004 テレビ東京・角川映画

DVD各¥3,990 (税込)

発売元:角川映画(株) 販売元:(株)角川エンタテインメント

\*未放送シーンを加えた特別版 \*特典映像としてメイキング映像も収録

テレビ東京開局40周年記念ドラマとして放送され、大好評を博した「赤い月」が未放映シーンを加えたスペシャル・バージョンとしてDVDにて発売!新たな感動を呼び起こします。



このシーンは兵庫県西宮市の夙川で撮影。

らは、相楽園の旧小寺家厩舎で撮影しました。そして、波子たちが牡丹江からハルビンへ避難したときに着いたナシヨナルホテルの室内のシーンとハルビンの阿片商人、鄒琳祥の家。この2カ所は、旧乾邸で撮影が行われました。

現代が舞台の作品は、撮影もそれほど困難ではありませんが、何十年、何百年も前の時代にあつた建物や施設を探して撮影するのは本当に大変です。イメージに合ったものが見つかったとしても、何日間も撮影用に貸し切り状態にできるとは限りませんし、内容的に協力しづらい場合もあります。多くの方の理解と協力があって初めてロケ場所として使わせて頂けるのです。

「赤い月」は、DVDも発売されています。昨年の放送を見られなかった方は、ぜひご覧ください。

田中まこ / 1955年大阪生まれ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校で2年学んだあと国際基督教大学編入・卒業。司会DJ、通訳・翻訳などを手がける。2000年9月より神戸フィルムオフィス代表。  
神戸フィルムオフィス  
078-3033202  
1

イラスト 川田敦子